

日本防災士会 千葉北

第 38 号 2020 年 1 月 1 日発行

今号の内容

- 年頭あいさつ 中村支部長 1
- 台風 15,19 号での活動 2
- 北部支部の防災支援活動 4
- 北部支部会員さん紙上インタビュー
藤田隆雄さん 6
茂木 宏さん 7
- 新会員紹介 8
- 編集後記 8



年頭あいさつ



支部長 中村誠

新年あけましておめでとうございます。

会員の皆様には、日頃から防災士としての強い自覚と使命感に基づき、日々支援活動に取り組んでいただいていますことに心より感謝申し上げる次第です。

昨年は台風 15 号、19 号がもたらした暴風雨により千葉県内で甚大な被害が発生しました。そのため支部内に災害対策本部を立ち上げ、関係自治体と連携して被災地支援活動を実施してまいりました。特に八街市災害対策本部の支援活動においては要請を受けて「八街市災害対策本部」の構成メンバーとして参画し、支援活動を行えましたことは、支部の日頃の支援活動等が評価されたものと理解しております。支部としては初めての被災地支援活動でありましたが、会員の皆様のご支援、ご協力により無事に活動が終了できましたことを厚く感謝申し上げます。

また昨年は日本防災士会千葉県北部支部設立 10 周年にあたり、記念行事として 6 月 1 日に千葉市文化センターにおいて、公開防災講演会を約 300 名の来場者を迎えて開催い

たしました。開催にあたっては、日本防災士会、日本防災士機構等のご協力をいただき、講師に中央防災会議防災対策実行委員会の委員で京都大学名誉教授であります河田恵昭氏を招き、「国難に備える！～巨大災害に立ち向かう民間防災力の力～」と題して講演していただきました。その中で防災を念頭において生活を考える「防災の主流化」が必要なことが一貫して強調されました。また、公開防災講演会には千葉県のご協力をいただき、千葉県災害対策コーディネーター等県内の防災関係者に広く参加を呼びかけました。

昨年の被災地支援活動及び創立10周年記念行事等を通して得られた経験と教訓等を今後の支部の諸活動に活かしてまいりたいと思います。

近年の地球温暖化による影響で千葉県内では今後も昨年と同様な災害が発生することが懸念されています。地域防減災力の向上を目指した支援活動を進めるため、会員の皆様のますますのご支援とご協力を切にお願いする次第です。

台風15号, 19号での支援活動

北部支部では台風15号発生の後、会員と被災地支援の目的で緊急災害対策本部を9月21日（土）に発足させ活動を進めてきました。以下にその活動大要を紹介します。

9月13日（金）鋸南町ボランティアセンター立ち上げ指導

鋸南町社会福祉協議会からの要請を受けて4名（中村利孝、高場、高崎、小椋）で鋸南町役場においてボランティアセンターの立ち上げ指導などを行いました。ボランティア運営マニュアルで基本的な事を説明した後、実際に現場で起こる様々な状況と対応の仕方を過去の事例と講師の実体験を通して伝えました。迅速な土嚢作りも実地指導しました。



土嚢作り実習

9月22日（日）防災士会本部研修会会場で支援金の募金を実施

10月7日（月）袖ヶ浦市でブルーシート屋根かけ補修作業

軽量鉄骨3階建て建築の棟部分の破損部にブルーシート掛けを行いました。土嚢を使用しない工法を採用。地上での準備作業を増やし、危険な高所での作業量を最小限におさえる新しい工法で、小椋・渡辺防災士が高所作業を担当し高崎・中村利孝防災士が地上での支援にあたり、4名で約1時間で作業を完了しました。



10月12日（土）～14日（月）八街市災害対策本部の一員で活動

八街市からの要請を受けて北部支部より10名が参加（中村利孝、谷、高崎、小椋、五味川、熊澤、渡辺、藤田、岡田、越川）しました。計7軒の家屋の屋根について、台風15号で設置されたブルーシートの状態を点検し、必要な個所について補修、貼り換えをしました。



11月1日（金）～3日（日）山武市支援活動

10月25日（金）の豪雨により床上、床下に浸水を受けた高齢者、障害者宅を支援するためのボランティア募集が同市の社会福祉協議会からあり、支部から12名（高崎、中村利孝、岡田、松浦、中村誠、熊澤、渡辺、谷、佐藤、小林、五味川、川崎）が参加し、泥かき、畳上げ、家屋内の清掃、片付け、消毒などを行いました。

～北部支部の防災支援活動（2019年9月～11月）～

北部支部は以下の防災行事に参加協力しました。

ご協力大変にありがとうございました。

- 9月1日（日） 市原市総合防災訓練（市原市）
- 9月7日（土） 四街道市民大学講座防災訓練（四街道市）
- 9月13日（金） 鋸南町ボランティアセンター立ち上げ指導（安房郡鋸南町）
- 9月14日（土） 野田市立岩木小学校防災訓練（野田市）
- 9月17日（火） 千葉県生涯大学校造形学部まちづくりコース防災訓練（勝浦市）
- 9月24日（火） 千葉県男女共同参画センター東上総地域防災訓練（勝浦市）
- 9月29日（日） 野田市東新田自主防災会防災訓練（野田市）
- 10月3日（木） まつど生涯学習大学講座講演（松戸市）
- 10月5日（土） 野田市総合防災訓練「防災フェア」テントブース出展（野田市）
- 10月7日（月） 袖ヶ浦市ブルーシート屋根かけ補修作業（袖ヶ浦市）
- 10月12日（土）～14日（月） 八街市災害対策本部支援活動（八街市）
- 10月18日（金） 佐倉市青管まちづくり協議会・井野中学校防災訓練（佐倉市）
- 10月19日（土） 成田市玉造4丁目自治会防災訓練（成田市）
- 10月20日（日） 成田市自主防災リーダー研修（成田市）
- 11月1日（金）～3日（日） 山武市社会福祉協議会ボランティア支援（山武市）
- 11月4日（月） 白井市総合防災訓練（白井市）
- 11月4日（月） ユーカリが丘防災訓練（佐倉市）
- 11月8日（金） 柏市風早南部地域防災訓練（柏市）
- 11月10日（日） 栄町災害ボランティアセンター立ち上げ指導（印旛郡栄町）
- 11月15日（金） 白井市青少年女性センター防災訓練（白井市）
- 11月16日（土） 栄町地区連絡協議会防災訓練（印旛郡栄町）
- 11月17日（日） みんなの防災塾 HUG 体験勉強会（君津市）

- 11月17日（月）野田市ライオンズガーデン野田梅郷防災訓練（野田市）
- 11月17日（月）梅郷団地自治会防災訓練（野田市）
- 11月30日（土）いすみ市北日在自主防災会防災訓練（いすみ市）



♪ 会員さん紙上インタビュー ♪

藤田隆雄（ふじた たかお）さん



- Q. 出身地と自己紹介をお願いします。
- A. 袖ヶ浦市です。支部では内房方面を担当しています。よろしくお願いたします。
- Q. これまでのキャリア（お仕事など）を教えてください。
- A. 警察人生 40 年で、最後は千葉県警察本部警務課付で君津市総務部危機管理課安全対策主幹として 1 年間勤務して勇退。以後は千葉県交通安全協会講習部で運転免許の更新時講習の講師を務め、昨年 4 月からは君津市交通安全協会事務局長として勤務する 69 歳です。
- Q. 特技、お持ちの資格、得意分野を教えてください。
- A. 特技、資格は警察官であったことから職業上必要な資格はすべて持っています。
- Q. 防災士になったきっかけはなんですか？
- A. 職業が関係しています。現役時代に千葉県東方沖地震・集中豪雨で災害警備を担当した経験を活かしたいと考え、防災士としての活動を始めました。
- Q. 地域や職場などで何か防災活動に取り組んでいますか？
- A. 現在袖ヶ浦市災害対策コーディネーター連絡会の事務局長として、防災士と一緒に活動しています。
- Q. 2011 年東日本大地震の時はどのような体験をされましたか？
- A. 大震災の際には、幕張の運転免許センターで講師の適正試験中でした。すぐ勤務先に連絡を取った後、京成線の千葉中央駅で帰宅難民となりました。自宅に戻ったのは深夜です。すでに日付が変わっていました。
- Q. 今、はまっていること、熱中していること、趣味などを教えてください。
- A. はまっていることは防災活動以外にありません。趣味は登山（高齢のためハイキング）と伊勢エビ釣りです。
- Q. 北部支部の活動に期待すること、取り組んでみたいこと、ご意見をお聞かせ下さい。
- A. 千葉県は広いので方面別の副支部長制になっています。この制度を活かすためにも一人一人が責任をもって活動をこなすことが大事だと思います。そして防災士として恥ずかしくない講話や指導を行い支部の発展に寄与することが重要だと思います。先日他支部から入会の案内が届きましたが、千葉県内は北部支部に統一して活動できることが望ましいと思います。
- Q. 将来の夢をお聞かせ下さい。
- A. まもなく 70 歳の大会に乗りますが体が動くうちは防災活動に頑張りたいと思います。



♪ 会員さん紙上インタビュー ♪

茂木 宏（もぎ ひろし）さん

Q. 出身地と自己紹介をお願いします。

A. 新潟県の長岡市で育ち少年期は野山で昆虫採集に熱中していました。

Q. これまでのキャリア（お仕事など）を教えてください。

A. 機械工学を学び大手建設機械メーカーで産業機械の設計・製造～セールスエンジニアとして米国生活8年を含む会社人生のほとんどを海外ビジネスに従事しました。

Q. 特技、お持ちの資格、得意分野を教えてください。

A. 英語。海外ビジネスでプレゼン力は鍛えられました。

Q. 防災士になったきっかけはなんですか？

A. 仕事を終えて時間的余裕ができ地域貢献できるツールとして資格を取りました。

Q. 地域や職場などで何か防災活動に取り組んでいますか？

A. 今年からマンションの理事長として地域の防災啓蒙と具体的活動を始めています。

Q. 2011年東日本大地震の時はどのような体験をされましたか？

A. 妻の友人と3人、自宅で談笑中でした。書籍棚が倒れるなど初めて経験する大きな揺れにびっくり。友人（東京在）を一晩マンションの集会所に泊め、翌日家族の迎えで無事に帰宅ができた時はほっとしました。

Q. 今、はまっていること、熱中していること、趣味などを教えてください。

A. 9年前から始めたハーモニカと社交ダンスに熱中しています。ハーモニカはバンド「希望ハーモニー」を結成し老人ホームなど各所で演奏活動をしています。ハーモニカもダンスも将来避難所生活で、皆さんへの励ましと健康維持でお役に立てる機会があると考えています。



Q. 北部支部の活動に期待すること、取り組んでみたいこと、ご意見をお聞かせ下さい。

A. 一人一人が自分の住む地域で防災力の向上に寄与してゆくことが防災士の主たる目的です。それを支援できる支部であり支部活動でありたいと思います。私もこれまでの支部活動で学んだことをベースに地域での防災活動に地道に取り組んでまいります。

Q. 将来の夢をお聞かせ下さい。

A. 南米アルゼンチン、プエノスアイレスの場末の酒場でマルガリータをすすり、バンドネオンの生演奏に合わせて素敵なレディとタンゴを踊りたいですね！また、闘病中の妻が健康を取り戻し2人で新婚旅行の思い出の地を訪ねることです。



右側

～新会員の紹介～

2019年10月以降、以下の方々が北部支部の会員になりました。
北部支部の会員数は139名です。(2019年12月25日現在)

小出香公子さん(市原市) 青山博行さん(習志野市)



編集後記

日本、世界、地球のいずれもが大きな難題を抱えて新年が始まりました。難題の解決には気の遠くなるような努力が必要ですが、課題の大きさに立ちすくんではならないということを知ってくれたのがスウェーデンの環境活動家グレタ・トゥーンベリさんであり、過日惜しくも亡くなられた中村哲医師の思想と行動です。「大人は(環境問題について)やっているふりをしているだけ」とのグレタさんの指摘は急所を突いていると思います。問題の複雑化は解決を遅らせます。「現実に打ちひしがれそうになる時があっても、今いる場所でやるべきことは多くある」(気候変動国際会議での識者の発言)の言葉に勇気づけられて編集子も遅ればせながら9月からエコバッグに切り換えました。本年もどうぞよろしくお願いいたします。

広報担当：茂木 宏 飯岡 孝

事務局の連絡先：竹内哲志 (takeuchi.srmmp@nifty.com)

